

日薬発第117号

平成28年7月7日

都道府県薬剤師会会長 殿

日本薬剤師会

会長 山本信夫

平成28年度日本薬剤師会賞、同功労賞並びに同有功賞（団体）の
授賞について

平成28年度日本薬剤師会賞等の授賞につきましては、7月5日開催の本会
選考委員会（委員長：山本信夫会長）にて慎重審議の結果、別紙の方々に各賞
を授賞することといたしましたのでご報告申し上げます。

なお、表彰式は第49回日本薬剤師会学術大会（愛知県）開会式と併せて、下
記により執り行います。

記

1. 各賞授賞者（別紙の通り）
2. 日本薬剤師会賞、同功労賞、同有功賞（団体）表彰式
[第49回日本薬剤師会学術大会（愛知大会）開会式]
日 時：平成28年10月9日（日）午前10時から（予定）
場 所：名古屋国際会議場 1号館1階 センチュリーホール
[愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番1号 TEL：052-683-7711]
（地下鉄名城線西高蔵駅徒歩5分、地下鉄名港線日比野駅徒歩5分）

平成28年度

日本薬剤師会賞、同功労賞、同有功賞（団体）授賞（者）一覧

（平成28年7月5日、日本薬剤師会賞等選考委員会にて選考決定）

〔年齢は平成28年6月末現在〕

【日本薬剤師会賞】（6名、五十音順・敬称略）

赤井 幸男(あかい ゆきお)	67歳	奈良県
沖本 洋明(おきもと ひろあき)	74歳	富山県
神村 武之(かみむら たけし)	68歳	沖縄県
辻上 巖(つじがみ いわお)	74歳	香川県
松田 泰行(まつだ やすゆき)	62歳	秋田県
山崎 太(やまざき ふとし)	70歳	岐阜県

【日本薬剤師会功労賞】（10名、五十音順・敬称略）

浅井 彦治(あさい ひこじ)	63歳	愛知県
伊東 昭彦(いとう あきひこ)	75歳	大分県
岸 亨(きし とおる)	70歳	東京都
澤上 大樹(さわかみ だいじゅ)	69歳	青森県
清水 秀行(しみず ひでゆき)	60歳	千葉県
長島 喜久雄(ながしま きくお)	66歳	三重県
増田 道雄(ますだ みちお)	65歳	茨城県
南 博(みなみ ひろし)	80歳	徳島県
山下 隆(やました たかし)	65歳	北海道
山村 万里子(やまむら まりこ)	65歳	大阪府

【日本薬剤師会有功賞】（1団体）

公益社団法人 大和綾瀬薬剤師会(神奈川県)

平成28年度 日本薬剤師会賞、日本薬剤師会功労賞、

日本薬剤師会有功賞(団体)授賞(者)の略歴・功績

[年齢は平成28年6月末現在]

【日本薬剤師会賞】(6名、50音順・敬称略)

赤井 幸男(あかい ゆきお) 67歳 奈良県

昭和48年近畿大学薬学部卒業。会社勤務を経てアカイ薬局経営。元奈良県薬剤師会会長。現奈良県薬剤師会顧問。元日本薬剤師会代議員。奈良県医療審議会、薬事審議会などの委員を歴任。厚生労働大臣表彰、奈良県知事表彰などを受賞。

沖本 洋明(おきもと ひろあき) 74歳 富山県

昭和40年明治薬科大学卒業。製薬会社勤務を経てオキ薬局経営。元富山市薬剤師会会長。元富山県薬剤師会会長。元日本薬剤師会理事。元日本薬剤師会代議員。富山県医療審議会、薬事審議会などの委員を歴任。叙勲(旭日双光章)、厚生労働大臣表彰、富山県知事表彰などを受賞。

神村 武之(かみむら たけし) 68歳 沖縄県

昭和46年名城大学薬学部卒業。沖縄県薬剤師会勤務を経てせせらぎ薬局経営。元沖縄県薬剤師会会長。元日本薬剤師会代議員。沖縄県医療審議会委員、国民健康保険診療報酬審査委員などを歴任。厚生労働大臣表彰、沖縄県知事表彰などを受賞。

辻上 巖(つじがみ いわお) 74歳 香川県

昭和40年大阪薬科大学卒業。製薬会社勤務を経て(有)辻上薬局経営。元香川県薬剤師会会長。元日本薬剤師会ブロック世話人。元日本薬剤師会代議員選挙管理委員会委員。香川県医療審議会、薬事審議会などの委員を歴任。叙勲(旭日双光章)、厚生労働大臣表彰、香川県知事表彰などを受賞。

松田 泰行(まつだ やすゆき) 62歳 秋田県

昭和54年東北薬科大学大学院修士課程修了。病院勤務を経て(有)松田薬局経営。元大曲仙北薬剤師会会長。元秋田県薬剤師会会長。元日本薬剤師会代議員。現秋田県薬剤師会顧問。秋田県医療審議会、健康づくり審議会などの委員を歴任。厚生労働大臣表彰、秋田県知事表彰などを受賞。

山崎 太(やまざき ふとし) 70歳 岐阜県

昭和45年岐阜薬科大学大学院修士課程修了。製薬会社、薬科大学、高山赤十字病院薬剤部長を経て大垣市民病院薬剤部長。現岐阜県薬剤師会会長。元岐阜県病院薬剤師会会長。元日本薬剤師会ブロック世話人。岐阜県医療審議会、薬事審議会などの委員を歴任。日本病院薬剤師会病院薬学賞。日本薬学会東海支部学術奨励賞などを受賞。

【日本薬剤師会功労賞】（10名、50音順・敬称略）

浅井 彦治(あさい ひこじ) 63歳 愛知県

昭和50年名城大学薬学部卒業。製薬会社勤務を経て(株)浅井薬局、(株)メディカルファーマシー、(有)アイ薬局経営。元愛知県薬剤師会津島海部地区薬剤師会会長。元愛知県薬剤師会会長。元日本薬剤師会理事。元日本薬剤師会代議員。元日本薬剤師会組織・会員委員会委員。愛知県医療審議会、薬事審議会などの委員を歴任。愛知県知事表彰などを受賞。

伊東 昭彦(いとう あきひこ) 75歳 大分県

昭和39年京都薬科大学卒業。ヤング薬局経営。元日田市薬剤師会会長。元大分県薬剤師会理事。現大分県薬剤師会監事。文部科学大臣表彰、大分県知事感謝状などを受賞。

岸 亨(きし とおる) 70歳 東京都

昭和43年東京薬科大学卒業。回春堂薬局経営。元東京都薬剤師会西多摩支部長。元東京都薬剤師会副会長。元日本薬剤師会医薬品情報委員会委員。元日本薬剤師会介護保険特別委員会委員。元日本薬剤師会薬局薬剤師部会幹事。現東京都薬剤師会相談役。東京都国民健康保険診療報酬審査委員会などの委員を歴任。厚生労働大臣表彰、藍綬褒章などを受賞。

澤上 大樹(さわかみ だいじゅ) 69歳 青森県

昭和46年東北薬科大学卒業。製薬会社、病院等勤務を経て(有)サワカミ調剤薬局経営。元青森県薬剤師会上十三支部長。元青森県薬剤師会副会長。現青森県薬剤師会監事。元日本薬剤師会代議員。青森県国民健康保険診療報酬審査会などの委員を歴任。厚生労働大臣表彰。青森県知事表彰などを受賞。

清水 秀行(しみず ひでゆき) 60歳 千葉県

昭和54年明治薬科大学卒業。病院勤務を経て帝京大学ちば総合医療センター薬剤部部長を歴任。現帝京平成大学薬学部教授。現帝京大学医学部附属病院薬剤部顧問。元千葉県病院薬剤師会会長。元千葉県薬剤師会副会長。元日本薬剤師会常務理事。元日本薬剤師会病院診療所薬剤師部会副会長。前日本薬剤師会調剤業務委員会委員長。元厚生労働省薬事・食品衛生審議会医薬品第一部会、第二部会などの委員を歴任。

長島 喜久雄(ながしま きくお) 66歳 三重県

昭和47年名城大学薬学部卒業。製薬会社等勤務を経てみどり薬局経営。元三重県薬剤師会代議員会副議長。現松阪地区薬剤師会会長。厚生労働大臣表彰、三重県知事表彰などを受賞。

増田 道雄(ますだ みちお) 65歳 茨城県

昭和49年明治薬科大学卒業。製薬会社勤務を経てマスタ調剤薬局経営。現茨城県薬剤師会副会長。現日本災害薬剤師学会副会長。茨城県診療報酬支払基金審査委員会などの委員を歴任。厚生労働大臣表彰。茨城県知事表彰を受賞。

南 博(みなみ ひろし) 80歳 徳島県

昭和34年徳島大学薬学部卒業。製薬会社勤務を経て南薬局経営。元徳島県薬剤師会会長。現徳島県薬剤師会顧問。徳島県公安委員会、医療審議会、薬事審議会などの委員を歴任。叙勲(旭日双光章)、徳島県知事表彰などを受賞。

山下 隆(やました たかし) 65歳 北海道

昭和50年北海道大学薬学部卒業。病院勤務を経て菊水ひまわり薬局等経営。はるか薬局経営。元北海道薬剤師会常務理事。元北海道病院薬剤師会常任理事。元日本薬剤師会職能対策委員会高齢者・介護保険等検討会委員。元道民の健康づくり推進委員会委員。

山村 万里子(やまむら まりこ) 65歳 大阪府

昭和49年岐阜薬科大学卒業。病院勤務を経てヤマムラ薬局経営。元八尾市薬剤師会理事。元大阪府薬剤師会常務理事。元日本薬剤師会代議員。元日本薬剤師会公衆衛生委員会委員。大阪府環境審議会、自然環境保全審議会などの委員を歴任。厚生労働大臣表彰、大阪府知事表彰などを受賞。

【日本薬剤師会有功賞(団体)】(1団体)

公益社団法人 大和綾瀬薬剤師会 神奈川県
会長 大塚 孝明 (会員数 152名)

公益社団法人大和綾瀬薬剤師会は、地域で活躍する薬剤師、薬事関係者による職能団体として昭和52年に設立され、市内の小学校・中学校・県立高等学校において給食施設、教室内の照明や空気、飲料水、プール水、アレルギー等について定期検査を行い、正しい薬の使い方を学習してもらうため『お薬教室』を開催すると共に、タバコ、飲酒、薬物乱用から児童生徒を守るため、さまざまな啓発活動を行っている。

一方で、薬を使用する機会の多い高齢者向けに、グループホーム、老人会に出向して薬を正しく使うための説明会を開催している。また、広域活動として、大和市地域医療センターに輪番で薬剤師を派遣し、夜間休日救急医療に貢献しており、日進月歩で進化する医療・医薬品の知識を吸収し、患者に還元できることを目標に学術研修会を開催するなど学術活動も積極的に行っている。

このように、調剤、医薬品の供給、安全管理を行うだけでなく、公衆衛生、福祉の分野においても広く活動している。

具体的な事業として、平成25年度には「地域住民へ使用しない医薬品の処理方法を啓発する」事業、平成26年度には「救急医療情報キットを利用して地域住民へ医薬品情報を啓発する」事業を実施した。

平成27年度は「救急医療情報キットを活用し、地域住民に健康意識向上を啓発する」事業を行った。また、処方箋の活用法及びジェネリック医薬品の使用促進を啓発する内容で、市民の医薬品に対する意識を啓発するため、「ちょっと便利な薬に役立つガイド」を作成し、市内全世帯へ新聞折り込みを行うとともに会員薬局でも配布し、啓発した。

更に市民が薬局をより身近に選択できるようにするために、薬局が持つ機能（健康相談・栄養相談・運動療法・24時間対応・自己採血・車椅子対応可能など）をピクトサインとして表し、それを薬局の正面に貼付するようピクトサインステッカーを作成し配布した。

これらの事業は、行政及び社会福祉協議会や医療関係団体、自治体等と連携して事業展開しており、これらの功績が評価されている。